

令和6年度 校長より ⑩

大会は、虎ノ門ヒルズとなりオープンしたばかりの新ニッショーホールで行われました。9月23日(月祝)に、産経新聞社が主催するSNEAKER AGES第4回全国高校軽音楽部大会関東甲信越地区グランプリ大会が開催され、本校軽音楽部が事前の動画予選を通過し出場しました。それぞれのバンドが順次思い思いの演奏をする中、本校の軽音楽部5名も会場と一体となった元気溢れるパフォーマンスを見せてくれました。全国大会出場とはなりませんでしたが、オーディエンスとして参加した本校生徒たちがベストサポーター賞を受賞することができました。出場メンバーが大舞台に立てた経験や他校を応援する生徒たちの姿が評価されたことは、軽音楽部の生徒たちに大きな自信となり、自尊心につながったことと思います。また、こうしたことは、他の生徒たちにも良い影響を与えてくれることと思います。軽音楽部の皆さんの立派な立ち振る舞いに敬意を表したいと思います。これからも素敵な演奏をよろしくお願いします。

1,800名の募集は、1週間前までに満杯となりました。9月28日(土)は、学校説明会を開催いたしました。最初に生徒会執行部の生徒たちから、大船高校の通学方法や学校生活などについてクイズ形式を交えながら紹介をさせていただき、その後担当教員から、生活指導、学習指導、英語教育、進路指導、入学者選抜等に関する案内と情報提供により、今年度よりスタートした教育プログラム「大船モデル」の内容について説明させていただきました。最後には学校長から、入学者選抜第一次選考において比率(3対7)と重点化(英語1.5倍、国語・数学の点数の高い方1.5倍)を行った意図とそこに込められているメッセージについての説明、昨年度の入学者選抜の分析結果(内申点と学力検査の得点別の合格率)の情報提供をさせていただくとともに、学校長から見た大船高校の最大の魅力についてお話させていただきました。大船高校では、本校でやりたいことがあり本校を第一希望として思っている方に入学いただき、大船高校でやりたかった教育活動に思う存分に取り組み、3年間しっかりと勉強もしながら、自分の希望する進路を確実に実現してほしいと思っています。そのため、内申点が十分でない場合でも学力検査に向けて最後まで頑張って勉強し、学力検査で高得点を取れば合格できるような選考基準としています。こうしたことを実現するための「大船モデル」であり、選考基準の比率と重点化であるにご理解いただければ幸いです。本校では、内申点により入れる学校を選ぶのではなく、本校を第一希望と思っただけの受検生を心よりお待ちしております。

令和6年10月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆